愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	社会的養護内容		
担当者(Instructors)	加藤 潤	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

昨今、社会問題になっている虐待や貧困など様々な理由で、家庭で生活できない子どもたちを養育する社会的な役割として社会的養護があります。子どもたちを取り巻く環境の背景には、誰でも起こりうる社会問題（子育て・若者・教育・労働など）があります。そういった課題に対して児童相談所や児童福祉施設、里親といった社会的養護の機関は、日々弛まぬ努力をしています。そうしたなかにあり「とても大変な仕事」という印象を持たれがちな児童福祉業界ですが、そのなかにはたくさんのやりがいと希望があります。　本科目では、児童養護施設で専門職として従事している教員による講義・演習となります。現場の視点を大切にしつつ、実際にあった面白エピソード、失敗エピソードを交えて、事例検討やグループワーク通してさらに発展させます。子どもと家庭を取り巻く様々な課題と、社会の持つ本質的な課題を捉え、それを支える社会的養護に関して理解を深めていきましょう。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	・授業内容に関わる心理テストによる自己覚知 ・テーマごとの個別考察orグループディスカッションによる演習と発表 ・テーマに関連した内容の講義 ・動画資料を用いて具体的なイメージを共有 ・リアクションペーパーの提出

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本講義の進め方、評価方法について 社会的養護の振り返り	□
第2回	社会的養護の歴史①～戦後と現在の比較～	戦後と現在の子どもに対する考え、社会的養護の在り方の変遷を学ぶ中で、変化してきた子どもの権利保障についてディスカッションを交えて学ぶ。	□
第3回	社会的養護の歴史②～バブル以降の経済史を踏まえた比較～	バブル以降の経済史と社会問題をふまえて現在抱える子どもを取り巻く社会問題についてディスカッションを交えて学ぶ。	□
第4回	社会的養護を担う様々な児童福祉施設	実はたくさんある児童福祉施設の種別。その違いと、機能について学ぶと同時に、どういった連携がされているのかを学ぶ。	□
第5回	児童福祉施設における日常支援	児童福祉施設における日常支援について、写真や映像を交えながら学ぶ。	□
第6回	家庭養育－里親・ファミリーホームについて－	あまり知られていない里親の種類や待遇、制度を学ぶ。	□
第7回	こんなことも仕事に－日々の関わりと育ちあい－	社会的養育のなかで、大変な部分に注目されがちな中で、職員の趣味や特技を活かして実はこんなことも仕事になる！という内容。	□
第8回	社会的養護における家族支援	家族再統合に向けた事例検討をもとに、保護者が抱える悩みや葛藤を映像とともに学ぶ。	□
第9回	社会的養護における自立支援	社会的養護における自立支援の取り組みを、就労支援、進学支援の事例を交えて学ぶ。	□
第10回	ライフストーリーワーク－自分の生い立ちを考えよう－	簡単なグループワークから、自身の生い立ちを振り返る。それをとおして子どもたちの生い立ち整理の必要性と難しさを学ぶ。	□
第11回	望まない妊娠と社会的養護	この科目で毎年反響がある内容です。社会的養護に関わる大きな共通点でもあり、身近に起こりうる問題としてある望まない妊娠。ドキュメントを用いて学ぶ。	□
第12回	若者の貧困と社会的養護	一般家庭においても若者の貧困は様々な問題・生きづらさが絡んでいる。担当教員の経験やグループディスカッションをとおして学ぶ。	□
第13回	SST－カードゲームを使ったソーシャルスキルトレーニング－	カードゲームを使ったコミュ力（発信・受信）のロールプレイ。	□

第14回	児童福祉施設の職員の労働環境	「働きやすい環境とは何か」をグループで考えると同時に。実習では聞きにくい職員の仕事・給与・待遇・休みなどについて学ぶ。	□
第15回	講義全体の振り返り	講義全体の振り返り	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・ネットニュースや新聞などで、社会的養護に関する記事に注視すること（3-4時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・講義開始時に配布するリアクションペーパーに講義終盤に記入し提出すること。　・マイクロソフトTEAMSによる個別の質疑応答。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	社会的養護が必要な子ども・家庭について、虐待等の事象に繋がる要因を、現代の社会構造や社会問題と結びつけて考えることができる様になる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	虐待など不適切な養育を受けてきた子どもたちが抱える生きづらさ、アンバランスさを、自身の生活の営みや親との関わりといった社会性に結び付け、想像したうえで対応を考えることができる様になる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	事例検討や自己覚知ロールプレイによって、受け身の学びではなく他者（クラスメート）との関わりの中で見識を広げ、口頭発表・毎回の小レポートでアウトプットする。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
		55%	45%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・期末レポート:6月上旬に課題レポートの内容を提示します。その内容を評価の55%とします。・毎回提出してもらうリアクションペーパーの内容を０点～3点×15回で計算し、評価の45%とします。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『みらい×子どもの福祉ブックス　社会的養護Ⅱ』（株）みらい	9784860154677
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『みらい×子どもの福祉ブックス　社会的養護Ⅰ』（株）みらい	9784860154981
2	「そだちあい」のための社会的養護　ミネルヴァ書房	
3	GTO SHONAN 14DAYS(1～9)（講談社コミックス）コミック	
4		
5		